



新春の庁舎を飾って16年

～ 市役所玄関前に大門松 ～

このほど池田市役所玄関前に巨大門松が設置され、来庁者や道行く人々は、足を止めて勇壮な姿を眺めていた。門松は来年1月13日（土）まで飾られる。

市北部の細河地区は日本の四大植木生産地（稻沢＝愛知県稻沢市、安行＝埼玉県川口市、久留米＝福岡県久留米市）の一つとして知られている。この大門松は、一般社団法人・池田市造園業組合（代表理事・山本学＝やまもと・まなぶ＝）が「植木・造園のまち池田」にふさわしい大門松を、と市役所前に飾りつけ市に寄贈したもの。今年で16年目。

同組合代表理事の山本学さんは「細河の植木を使った大門松を多くの人に楽しんでいただき、広く池田の植木を知ってもらえればうれしいです。」と話していた。

大門松について

大門松は高さが約3メートル、幅と奥行きが90センチで左右一対（2体）。材料は竹をはじめ松、ナンテン、梅、ハボタン、クマザサなどで、ほとんど細河産を使っている。それらの材料で11人の組合員が約2時間かけて完成させた。土台の部分は複数の木板を組み合わせた木枠にし、竹を束ねて土を入れる。竹のまわりに松や梅、ナンテンなどをバランスよく植えていき、本体をつくる。土台の中に土を足しながらハボタン、クマザサなどを飾りつければ豪華な大門松が完成。組合員は慣れた手つきで要領よく飾りつけた。



問い合わせ 総務部総務課 TEL072・754・6220